

# 3年目に被災地で求められること、 外部支援との協働の可能性

石巻仮設住宅自治連合推進会  
会長 山崎 信哉



# 1. 石巻仮設住宅自治連合会とは

石巻仮設住宅自治連合会は、石巻の仮設住宅自治会役員が様々な課題を共に乗り越えるため、自治会有志により結成しました。東日本大震災の被災地域において、一番初めに発足した仮設住宅の自治連合会です。

## ■ 設立経緯

2011年12月、石巻市内の仮設住宅住民にとって、安全・安心で住みよい環境づくりのために建設的な取り組みを行うことを目的に、5団地の自治会が集まり設立。

## ■ 加盟自治会数

36団地（平成25年3月20日現在）

※石巻市内に仮設住宅134団地があり、平成25年3月20日時点で自治会が発足したのは38団地のみ。入居世帯数が50に満たない等の理由で単独の自治会を設立せず隣接地域の既存の自治会に編入したのは79団地。その他、17団地は調整中。

## 2. 石巻仮設住宅自治連合会が目指してきたこと

- 孤独死を出さないため、住民同士で見守りができるコミュニティづくり
- 安全、安心で明るく住みよい環境づくり
- 住民自らが主体となって運営する自治会および自治連合会の体制づくり



### 3. 石巻仮設住宅自治連合推進会の活動

- **定例会の開催**  
毎月1回の定例会および支部会議を開催し、  
仮設住宅自治会間の情報共有
- **行政や関係機関、支援者との連携調整**  
情報の伝達、要望書の提出
- **仮設住宅の生活環境改善に向けた取り組み**  
駐車禁止や交通標識の取り付け
- **コミュニティ形成支援**  
親睦行事(スポーツ大会や歌合戦など)の開催
- **全仮設住宅団地への訪問調査**  
自治会の設立状況をはじめとする基礎調査
- **その他**  
パソコン教室(企業・NPOとの協働)など



## 4. 石巻仮設住宅自治連合推進会の体制

### 石巻仮設住宅自治連合推進会

#### 石巻仮設住宅自治連合会

##### 役員会

(会長1名、副会長5名、監事1名)

##### 事務局

事務局長(常勤)

職員2名

##### 中央ブロック

(10団地)

##### 西ブロック

(19団地)

##### 東ブロック

(4団地)

##### 北ブロック

(3団地)

##### 石巻市

企画部市民協働推進課  
福祉部被災市民生活支援課

##### 石巻市社会福祉協議会

##### 石巻警察署

生活安全課・地域課

(社)日本カーシェアリング協会

(社)みらいサポート石巻

情報共有・連携

石巻市民病院

支援事業に関わるNPO等

# 5. 石巻仮設住宅自治連合推進会の活動成果

## ● 定例会の開催

毎月の定例会開催と「自治連だより」の発行  
支部会の運営サポート

**いしの手まき自治連だより**

Vol.0  
2012年9月

石巻仮設住宅自治連合会  
編集  
平成24年10月19日発行

石巻仮設住宅自治連合会（自治連）は、石巻市内の仮設住宅住民の安全で安心な住まいづくりに向けて建設的な取り組みを行うことを目的に、昨年12月に設立しました。仮設住宅の自治会役員が情報交換を行うための定例会（月1回）の開催や、行政及び関係機関等への働きかけ、住民間の交流促進を目的とした行事等を開催しています。

**各7ブロックからの近況報告**

※加盟団体の増加に伴い、市内を4ブロックに分け、各ブロックを編成し掲載した内容を定例会で共有しています。

<p>＜中央ブロック＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑費・副食費等で1021</li> <li>・半食金を開催予定</li> <li>・未当人が生活に困窮している人の生活保護申請と課題に関する提案。仮設での絶食死を防ぎたい。</li> </ul>	<p>＜東ブロック＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック長が交代。定例会での連携の共有に課題がある。</li> </ul>	<p>＜西ブロック＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺失の上にある収納ボックスが落下する事故と風呂の追い炊き工事後でガス漏れが発生。他の団地でも同様の事故が無いよう注意を。</li> </ul>
---	--	--

## ● 行政や関係機関との連携調整

市との協働による復興公営住宅説明会の開催

**定例会トピックス**

自治連が毎月開催する定例会には、石巻市役所や石巻警察署、石巻市社会福祉協議会やNPO等にもご参加頂き、仮設住宅に係る各種情報を共有して頂いています。9月の定例会で各関係機関から報告された事項は下記の通りです。

- 東北財政局金融監督課3課からのお知らせ
  - 二重ローンの減免制度について、住民の方への周知を図りたいと考えています。今抱えている住宅ローンをどうするか、問題をお持ちの方が多くいます。相談の電話窓口もありますが、お茶ご等の場を利用し説明する機会を頂きたいと考えています。
  - 詳細にご注意ください。審査後、少しでもお金を増やしたいという思いから、盗に騙されてしまう人も多いようです。投資を呼びかける話、資金が増えるなどの話にひっかからないようにご注意ください。
- 市役所福祉部被災市民生活支援課からのお知らせ
  - 9月14日に第5回宮城県災害援護基金配分委員会の決定がありました。10月中には配分できるようにしたいと考えています。9月30日で義援金受付団体と宮城県への受付は終了の予定でしたが、実名3月まで延長となりました。
  - 仮設団地内の道路清掃ができました。除雪、正室灯、駐車禁止、飛び出し注意の4種標識があります。来週より順次設置を行います。
- 石巻警察署生活安全課からのお知らせ
  - 仮設住宅内の器物損壊の発生状況について、入居以降8月まで被害届の総数は149件。うち器物損壊が半数以上の99件。石巻市警轄のみでは59件と39件。発生が多い地域を重点地域として、警署の巡回、パトカー、青色防犯パトロールにもお願いして警戒します。
  - 10月20日期成団地集会所を借り、自治会長・関係機関の方々に集まって頂き器物損壊に関する連絡会議を開催します

**事務所からの内情**

- 石巻仮設住宅自治連合会会長の交代
  - 後藤氏（万石清団地会長）より山崎氏（大境団地会長）に交代しました。
- 事務局体制の強化
  - 設立より、事務局運営や活動に必要な資金を確保するため、事務局が補助金や助成金に申請してきました。半年以上にわたりチャレンジを続けた結果、9月に「宮城県新しい社会のつくりのめざすまちづくりの推進基金」と新しい町建「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」助成事業の審査に合格し、活動資金を確保することができました。これまでは自治会役員有志が支援団体の協力を得て、自治連の運営と活動を行っていましたが、これを機にスタッフを雇い入れて事務局体制を強化し、自立発展的な運営を目指します。
- パソコン教室開催
  - （株）NTデータさまのご協力により、パソコン教室を開催します。各団地の自治会運営の書類作りや、自治会間の情報共有をスムーズに行うために、パソコンの使い方を勉強しましょう。少人数制、初心者歓迎。ぜひご参加ください！詳細は事務局まで：090-6639-7543（担当：事務局長、内線）
- プロレスが社会・連立運動
  - 仮設住宅団地のプロレスが社会は民間の会社が入っており、適正外の建設がついてくる場合があります。料金の適正化を求めたための文書を作成しましたので、必要な団地は事務局まで取りに来てください。

## ● 仮設住宅の生活環境改善に向けた取り組み

駐車禁止や交通標識の取り付け

## ● コミュニティ形成支援

スポーツ大会：20チーム参加  
歌合戦：20チーム参加

## ● 全仮設住宅団地への訪問調査

全134団地を訪問し、115団地からアンケート結果回収

## ● その他

12団地へのパソコン・インターネット環境の整備  
パソコン教室（企業・NPOとの協働）など



# 車移動のお願い

ここは駐車禁止区域です。万が一の際、緊急用車両が通行できませんので定められた駐車場へ車の移動をお願い致します。

石巻市  
石巻警察署 生活安全課・地域課  
石巻地区消防本部・消防署  
石巻仮設住宅自治連合会

## 6. ありがたかった支援と、これからの支援

### ■ ありがたかった支援

- 衣・食の支援
- 自治会で出来ないイベント
- 支援情報や公営住宅情報の提供
- 住民の技能を生かした企画
- 資金の助成
- 社協の見守り
- 警察による防犯パトロール
- 土台の支援

### ■ 「？」な支援

- いつまでも物資を配る
- 集会所の予約を頼まれる
- チラシ貼ってはがさない
- 集会所の扉に案内を接着
- 支援をお断りした例

考える角度を変えてほしい

## 7. これからの取り組みの“軸”

### 震災から3年目。震災を乗り越え、復興に向けた「自立」へ

- 「仮設は、全国の皆さんに住まわせてもらっている所」
  - 今の仮設は、震災前の住居や公営住宅より恵まれた部分も。
  - 仮設は仮設、やりすぎないように。
- 「住民が主体に」
  - 自治会長もこれから抜けていく。
  - 何でも役所だよりにならないように。
- 「人とモノを失っても、心を失わない」
  - 自立心の醸成
- 多様な価値観の中でのコミュニティづくり
  - 命令・禁止のルールづくりではなく、地道な協力お願いの積み重ね



# 住民だけではできない部分を補う支援

- 住民のやる気を引き出し、活力を取り戻すきっかけづくり

自治会では出来ないお笑い、音楽、伝統芸能等イベントの開催

- 生活再建に関する情報の伝達・提供

公営住宅入居や集団移転等に関する情報

- 専門的な分野のサポート

まちづくり等の専門スキルやノウハウの提供

## 9. まとめ

これまでの2年間、行政、関係機関、ボランティアの方々をはじめ、国内外の多くの方々からご支援を頂いたことは、本当にありがたく、心から感謝しております。

今後、更なるご支援をお願いするとともに、私ども被災者も自立に向けて心身の健康に留意し、頑張っていきたいと思っております。



---

ご静聴ありがとうございました。

【ご質問・お問合せ】  
石巻仮設住宅自治連合会 事務局  
TEL/FAX:0225-22-0223  
Email:jyounai@hotmail.co.jp

